

発行：葛飾区環境課緑化推進係

緑化推進協力員会
夏の園芸教室

花菖蒲の株分け



講師：白井恭平（葛飾区緑化推進協力員）

2016年7月6日(水)午後2時～

東四つ木地区センター（東四つ木 1-20-4）

主催：葛飾区緑化推進協力員会

協力：葛飾区

花菖蒲栽培の1年の流れ

●夏の管理：(6月～8月)

6月の花が咲き終わる頃に株分けをします。

❖水やり：鉢を受け皿に5cm位水に漬けておくと水やりの手間も省けて便利です。

(※受け皿の水の温度が上がりすぎないようにします。)

❖肥料：普通は肥料をあげません。

●秋の管理：(9月～10月)

涼しさとともに新芽、新葉の成長が盛んになってきます。

(2年目以降は、9月上旬から中旬にかけて7号鉢に植え替えます。

※ 植え方：株分け時と同じ土を3cmくらい入れ、鉢から抜いた苗をそのまま大きい鉢の真ん中に置き、土を周りに入れます。

❖水やり：水を張った受け皿から出して普通の鉢で管理します。(晴天の日は1日1回程度。)

❖止め肥：秋の彼岸過ぎから晩秋までに2・3回肥料を施します。それ以降施しません。(肥料は有機肥料(油かす・骨粉・魚粉)で良いです。)

●冬の管理：(11月～2月)

休眠期に入ります。葉が枯れても、苗は枯れていません。

❖水やり：自然の雨で十分です。雨が少なく乾燥する場合は週に1回程度、水をあげます。

●春の管理：(3月～5月)

❖肥料：葉の色が薄かったら薄くした液肥を施します。

(※肥料をあげすぎると花がつかないので注意します。)

用意するもの

1. 赤玉土（小粒）
2. 黒土
3. 鉢（5号鉢）
4. 鉢底ネット
5. ハサミ
6. 苗



作り方

1. 根を傷つけないように根鉢の土を落とし、水で洗って綺麗にします。
 2. 葉を高さ約 20cm に切り詰めます。
 3. 株を大きく二つに割ります。その後、株を小さく分けていきます。※この時、中央棒状の株（花茎）は取り除きます。
 4. 鉢底に鉢底ネットを敷いた鉢に、赤玉土（小粒）と黒土を混ぜた用土（赤玉土 8 : 黒土 2 の割合）をつめ、根を広げて苗を置き、浅植えにします。
 5. 株分けした鉢は、水をたっぷりあげ、十分に日の当たるところに置きましょう。半日以上日陰になると、生育不良になります。
-
-
-